

メディアでの紹介

岩手日報 2017年(平成29年)11月15日(水)

イクメン発 育児アプリ

盛岡市などの子育て中の父親でJVMの「MORIOKAコソダテオウエンプロジェクト」村上げ代表は、育児に役立つ情報や行事などを発掘するスマートフォン用の子育て応援アプリを開発した。現在はAndroidとiOSが配信され、15日発売。利用者の声を聴き、機能拡充を図り、行政、企業、地域、子育て世帯をつなぐ情報提供を担う。

盛岡などの父親有志

アプリは、スケジュール管理ができるカレンダーと子育て支援情報を紹介する機能を備え、休日当番表や行事、防犯、生活、グルメ



行事や生活情報掲載 予定管理できる機能も

情報などを知らせることができ、行政情報だけでなく、民間や地域事業者の情報も積極的に掲載している。

「おろか子育て応援アプリ」は、子育て支援施設と連携し、親子を楽しめるイベントも企画する。

「アプリ」は、まだ10月のコンパイル作業を終った盛岡市本宮の村上げ代表、仙台市在住で10企業に勤める松浦洋介さん(34)、生活関連支援サービス業の浅田啓人(40)の3人、子育て世帯に向けた情報発信の勉強会で出会い、各自の特性を生かしながらアプリを開発した。

盛岡市の子宅未来基金から300万円の交付金を受けたが、将来的には企業広告で運営を全て賄う。村上げ代表は「情報サービスで行政、民間、地域をつなぎ、みんなで子育てを応援できる環境を整えていきたい」と意気込む。

アプリは無料。18日午後1時半からマ・モールで第1回もろか子育て応援サロンを開催、アプリの操作体験や親子でのクリスマスパーティーを行う。

問い合わせ先 080・1514・1411(ペ)

岩手日報 2017年(平成29年)12月19日(火)

子育て応援アプリを開発したMORIOKAコソダテオウエンプロジェクトの代表

村上げ 勝 俊さん

ひと

「ひと」は、行政や支援団体と子育て世帯をつなぐ役割を担う。10のアプリを通じて子育ての輪を広げたい。子育て支援の輪を広げたい。子育て支援の輪を広げたい。



子育て中の父親として、村上げは、育児に役立つ情報や行事などを発掘するスマートフォン用の子育て応援アプリを開発した。現在はAndroidとiOSが配信され、15日発売。利用者の声を聴き、機能拡充を図り、行政、企業、地域、子育て世帯をつなぐ情報提供を担う。

盛岡市の子宅未来基金から300万円の交付金を受けたが、将来的には企業広告で運営を全て賄う。村上げ代表は「情報サービスで行政、民間、地域をつなぎ、みんなで子育てを応援できる環境を整えていきたい」と意気込む。

アプリは無料。18日午後1時半からマ・モールで第1回もろか子育て応援サロンを開催、アプリの操作体験や親子でのクリスマスパーティーを行う。

問い合わせ先 080・1514・1411(ペ)